



協・競・響

Tutti
トゥッティ

No. 16

令和2年10月14日

発行者：岩切 理恵子

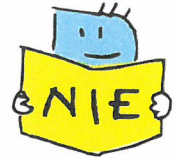
★NIE「教育に新聞を」

NIE(Newspaper in Education=エヌ・アイ・イー)とは、学校などで新聞を教材として活用し、興味や関心の幅を広げる運動のことです。1930年代にアメリカで始まり、日本では1985年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。

(各学級一点ずつ2年校舎に掲示してあります→)

伊敷中でも、新聞に親しんだり読解力や表現力を身に付けたりすることを目的に、7月から取組が始まりました。毎月第2土曜日に配布される新聞記事を読み、自分で考えたタイトルを付け、気付いたことや思ったことを文章でまとめます。

9月の課題は、2年生の総合的な学習の時間のテーマに関連する「太平洋戦争の終結」についてでした。



「特攻隊員の思い」(4組 荒木結葉)

私は、この記事を読んで「亡くなった特攻隊員は17～32歳」「平均年齢は21歳」というところにとっても驚きました。なぜなら、私たちより少し上の方が、この”特攻作戦”によって命を落としているからです。たくさんの飛行機が国のために飛び立ち、帰って来なかったと思うと、とても心が痛みます。

私たちは、まず当時のことを知ることが大切だと思います。そして、特攻隊員の人たちなどの思いを受け継いでいき、戦争を二度と繰り返したくはないです。私は太平洋戦争などのことを知ると、いかに今の”平和”な日本が素晴らしいかが実感できます。

この世の中を持続していきたいです。

「戦争の残酷さ」(5組 肥後美希)

私は、小学校の頃、家族で知覧特攻平和会館に行きました。その時見たビデオを今でも鮮明に覚えています。特攻隊が戦争に行く前、家族に残した遺書、死ぬ覚悟を決めた特攻隊が空に飛び立つ様子。どの映像も戦争の残酷さを物語っていて涙が止まりませんでした。本当に戦争は必要だったのか、家に帰ってからずっと考えていました。

しかし、現代を生きる私たちがすべきことは、過去にあった戦争のあるなしを考えることではなく、今もなお起きている紛争を無くすこと、さらに永遠に戦争が起こらない世界をつくることだと思います。私は未だに起きている紛争についてよく知らないので、現在どのような現状なのか調べ、少しでも平和に貢献できる人になりたいです。

★新任の先生の紹介



10/14(水)から産休に入る田中都美先生の代替の先生が決まりました。2年2組の副担任で国語科の平原理香(ひらばるりか)先生です。

早く学校に慣れて、みなさんの学びのお手伝いできればと思います。明和の出身なので、この地域はなじみがあり楽しみです。よろしくお願いします。